

このページでは、避難生活での疑問や、除染・補償・賠償に対する質問にお答えします

11月25日
ご協力ありがとうございました
村役場飯野出張所でお聞きしました



菅野一彦さん(長泥)
(質問) 県外の避難先から、母が暮らす松川の仮設住宅へ月に2回ほど来ています。村で農作業をしていた時とは違い、体を動かす機会が減っている母の健康を心配しています。

(回答) 避難生活で体を動かす機会が少なくなり、体力の低下や体の不調を感じる人が大変多くなっています。
村ではそうした運動不足の解消につながるよう、仮設住宅や借り上げの公務員宿舎、「いやしの宿いitate」で、月2回、高齢者向けの運動教室を開催しています。内容は、自宅でもできる運動です。さらに自分の生活スタイルに合わせて運動に取り組めるよう、各世帯に配付しているタブレット端末でラジオ体操の動画を配信しています。今後もさまざまな運動の動画を提供していきたいと考えておりますので、ご利用ください。
なお、健康面で心配なことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。(健康福祉課健康係 ☎024-562-4216)



大谷久美子さん(小宮)
(質問) 母が亡くなり村内の実家に行った時、庭木がなくなっていることに気づいてウルトラ警察隊の方に現場を見てもらいました。今は巡回をしてもらっていますが、不審者を見かけたら声をかけ警察に通報する等の警戒がさらに必要だと感じています。

(回答) 避難中の村内に外部の人が多数出入りしている状況もあり、防犯への取り組みがますます必要となっています。「いitate全村見守り隊」は昨年同様、年末年始も村内の巡回を行います。大谷さんのご実家の事例は見守り隊に伝え、一層の防犯に努めていただきます。また、お話にあるように、県外から派遣の警察官による「ウルトラ警察隊」も村内や仮設住宅のパトロールを継続しており、犯罪抑止にご尽力をいただいております。
村内の人かどうかの見分けがつくのは住民です。怪しい人を見かけたら声かけや通報をする等、村民相互も用心をして被害にあわないよう努めましょう。

お詫びと訂正
「広報いitate 11月号」P26の当コーナーで、ご質問をいただいた「齊藤京子さん(八木沢・芦原)」のお名前が、誤植により前号のまま「西川ケサヨさん(宮内)」となっていました。訂正しお詫び申し上げます。ご協力をいただいた齊藤様、西川様、ご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでした。



いitateのおはなし
聞かせっかい 8

猫描き小僧

昔、ある所さ、猫の絵ばかり描いた童子いだんだ。いっちなまら、家から追んださ「泊めてもらええ」って言っても、泊めでくえつ所ねがったんだ。ほんで、空寺さ行って、猫の絵出して並べで見たさうだ。ほのうち、辺りが「ミシミシート」としてきたんだ。ほうしたら、一番良えぐ描けた猫、「ススツ」と屏風の陰さ走ってつちまったんだ。あぐる朝、村の人ら行って見たら、大っけえネズミ、猫に食つちえ死んだんだ。ほの村さ居づいっちまって、偉え坊様になつたんだ。んだがら、何でも本気なつてやるもんなんだ。

「話者/末永ハツイさん いitate 民話の会発行「語って聞かせっかい」から転載」

結婚おめでとう

氏名	行政区
藤井 慎悟	上飯樋
東 佐恵子	福島市
佐藤 拓未	関根・松塚
高木 千明	郡山市
中島 祐介	比叡
菅野 由香	福島市

いつまでもお幸せに

(10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

10月1日~31日までの人口動態		10月1日~31日までの人口動態	
今月(前月比)	昨年同期	転入	転出
男 2921 (0)	2944	4人	7人
女 2999 (-7)	3003	7人	7人
計 5920 (-7)	5947	11人	
世帯数 1653 (-3)	1685		

(平成22年国勢調査に基づき増減された現住人口)

誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
清野 馨介くん	和正・晴香	大倉
佐藤 結心ちゃん	智里・晶子	草野
鈴木 宏くん	仁・美由紀	白石
荒 みのりちゃん	真一郎・恵	飯樋町

すくすくと元気に育ってね

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 道子	72	大倉
高橋 マス子	92	二枚橋・須萱
佐藤 フヂイ	92	飯樋町
阿部 ハルヨ	77	佐須
細川 ヨシイ	89	上飯樋
鳴原 勝	88	長泥
小山 弘幸	41	草野
田中 サワ子	83	八木沢・芦原
山田 百合子	63	飯樋町
小椋 一郎	80	蕨平
小嶋 原林	82	長泥
小嶋 清	86	関沢

ご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

「いitateで村民ふれあい号」に同行させていただきました。3台のバスに分乗して111人で群馬県内を行く旅です。(詳しくはP6をご覧ください)「あ！来たの？何号車？」バスを降りるたび、あちこちで再会を喜ぶ声が聞こえます。そして、歩いて登って歌って…皆さんとつてもお元気！いやなことも大変なこともなくさんあるはずなのに、見る方まで元気がなっちゃう笑顔がいっぱい、これが飯館村の底力だ」と一人うなずく私でした。すべての行程が順調に過ぎ福島へ。あつという間の2日間でした。広報取材にも温かなご協力をいただきました。大変お世話になりました。(星)